

平成27年度 第3回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨 (案)

日 時 平成27年11月13日 (金) 13:00～15:03
 場 所 琉球大学医学部 管理棟3階 大会議室
 構 成 員 36名 出席者31名 欠席者5名

1号委員 (琉大病院長)	藤田 次郎
2号委員 (県立中部病院長)	上原 元
(那覇市立病院長)	照喜名 重一
3号委員 (県立宮古病院長)	上原 哲夫
4号委員 (北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
(県立八重山病院長)	依光 たみ枝
5号委員 (沖縄県医師会長)	宮城 信雄 (代理) 吉川 三四郎
6号委員 (沖縄県歯科医師会長)	比嘉 良喬
7号委員 (沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌
8号委員 (沖縄県看護協会会長)	仲座 明美
9号委員 (沖縄県政策参与)	新垣 義孝 (欠席)
10号委員 (沖縄県保健医療部長)	仲本 朝久 (欠席)
11号委員 (がんセンター長)	増田 昌人
12号委員 (医療福祉支援センター長)	藤田 次郎
13号委員 (琉大薬剤部長)	中村 克徳 (代理) 外間 惟夫
14号委員 (琉大看護部長)	下地 孝子
15号委員 (琉大事務部長)	深澤 博昭
16号委員 (県立中部病院副病院長)	本竹 秀光
(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇
(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
(那覇市立病院外科部長)	宮里 浩 (欠席)
17号委員 (県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
(県立宮古病院副看護部長)	小禄 範子 (代理) 本村 悠子
18号委員 (北部地区医師会病院看護部長)	柴山 順子
(県立八重山病院看護部長)	上盛 厚子 (欠席)
19号委員 (沖縄県がん患者会連合会)	田仲 康榮 (代理) 安里 香代子
(がんの子供を守る会沖縄支部代表)	片倉 政人
(公益社団法人日本オーストミ協会沖縄支部長)	大城 松健
(ゆうかぎの会(離島におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
20号委員 (東京大学公共政策大学院医療政策教育・研究ユニット特任教授)	埴岡 健一
(沖縄タイムス社会部副部長待遇)	儀間 多美子
(特定非営利活動法人グループ・ネクス理事長)	天野 慎介
21号委員 (琉大病院歯科口腔外科長)	新崎 章
(琉大病院病理部長)	吉見 直己
(琉大病院第一外科長)	西巻 正
(琉大病院骨髄移植センター長)	百名 伸之 (欠席)
講 演 者 厚生労働省健康局 がん・疾病対策課 がん対策推進専門官	秋月 玲子
陪席者 琉大病院がんセンター特命助教	井岡 亜希子

議事に先立ち、議長から、本日の日程は定例の時間から変更となり、13時～15時までとなる旨の説明があった。また、協議会終了後にごがん検診啓発ポスターデザインコンテストの投票を行う旨の説明があった。

増田委員（11号委員）から、本日は厚生労働省健康局がん・疾病対策課がん対策推進官の秋月 玲子氏をお招きし、講演をしていただく旨の説明があった。

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 平成27年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月5日開催)

増田委員（11号委員）から、資料1の第3回幹事会議事要旨（平成27年10月5日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、2週間程度を目途として各委員から事務局へ申し出ることとした。

2. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(8月7日開催)

増田委員（11号委員）から、資料2の平成27年度第2回協議会議事要旨（平成27年8月7日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、2週間程度を目途として各委員から事務局へ申し出ることとした。

3. 平成27年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事録(8月7日開催)

増田委員（11号委員）から、資料3の平成27年度第2回議事録（平成27年8月7日開催）の確認があった。訂正等が必要な場合は、2週間程度を目途として各委員から事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧

増田委員（11号委員）から、資料4に基づき以下のとおり委員の変更について報告があった。

（協議会委員）

- ・ 13号委員 琉大病院薬剤部部長 中村 克徳
- ・ 17号委員 沖縄県立宮古病院副看護部長 小禄 範子

（研修部会）

- ・ 琉球大学医学部附属病院放射線技師長 青山 信和

（相談支援部会）

- ・ 沖縄県立宮古病院地域連携室室長 佐渡山 英子

（普及啓発部会）

- ・ 沖縄県立中部病院呼吸器内科 長野 宏昭

審議事項

1. 沖縄県がん対策推進計画（第2次）の中間評価について

増田委員（11号委員）から、先行している国の中間評価に社会的状況や概念の変化を加え、かつ可能な限り多くの客観的・主観的指標を用いて中間評価業務を進めており、現在は、主観的指標としての患者・家族アンケート調査及び医療者アンケート（県6次医療計画にある20のがん専門医療機関）に取りかかる段階である旨の説明があった。

次に、琉大病院がんセンター井岡特命助教から、資料5に基づき以下のとおり説明があった。

- ・ 資料中「Ⅲ. 分野の考え方」については、第2次計画の分野の区切りから2年が経ち事情が変わってきたことに伴い、分野の構成を変更または分野の追加を行うこととする。
- ・ 中間評価は、①施策・指標マップ（資料5-1）、②分野アウトカム・中間アウトカム・個別施策の一覧（資料5-2）、③指標リスト（資料5-3）をセットとして構成しており、②で分野アウトカム・中間アウトカム・個別施策の内容を文章で、③で指標の詳細を記載している。

- ・中間評価の構成において、「4. がん種別がん対策の進捗状況」は新たに追加した分野である。
- ・「5. 世代別がん対策の進捗状況」における、AYA 世代（15 歳～29 歳）のがん及び高齢者（75 歳以上）のがんも新たに追加した分野である。
- ・がん死亡率の減少は20%を目標としているが、なかなか厳しい状況である。

また、天野委員（20号委員）からがん死亡の減少率が小さいことに関して、どのように要因分析しているか質問があり、井岡特命助教からは、死亡減少率の大きい県は概ね「肝がん」が多く、沖縄県においては肝炎ウイルス保有者が少なかったため、減少率が顕著となっている「肝がん」の影響は小さく、よってがん死亡率の減少は鈍いとの説明があった。また、女性のがん死亡率減少は鈍く、乳がん、大腸がん死亡の減少を更に加速させていく必要がある旨説明があった。

なお、議長からも本県のがんは他県と異なり独特であることから、そのことを踏まえた分析と対策が望まれる旨の発言があった。

次いで、琉大病院がんセンター井岡特命助教から、患者・家族アンケート（資料5-5-①）及び医療者アンケート（資料5-6-①）の概要説明と各病院への協力依頼があった。

2. 「沖縄県がん登録2013年集計報告書（仮）」に関するお願い

増田委員（11号委員）から、これまでの集計報告書が県内拠点病院の3病院の報告書となっている状況であり、本協議会でも各種意見等をいただいているところであるが、要望に応えるため、県内で院内がん登録をしている16施設にも参加いただき、データとして集約できるものは含めていき、全県的なデータとしてカバー率の高いものとした旨の説明があった。また、資料6に基づき、本協議会以外の10病院院長へは直接依頼し内諾を得ており、今回協議会に諮りたい旨の説明があった。

なお、報告書に加えたい内容として具体的には、院長コメント、部長クラスコメント、5年生存率（可能な限り）、医療圏別の患者数、5大がん以外の前立腺がん、子宮頸がん、血液腫瘍データの追加等である。留意事項としては、患者数としてかなりの少人数（1～2名程度）であり、これを表記することにより個人が特定されないかという点である。この点については国のデータとも見比べる必要がある。

その後、委員から以下のとおり意見等があった。

・埴岡委員（20号委員）

このことでカバー率が上がり、報告書としての精度が上がる。各データベースとも組み合わせ、アウトカムデータ、プロセスデータ、ストラクチャーデータから問題やその原因等を抽出でき、全体像を見ながら進めることもできるので、前向きな取り組みと評価する。

・天野委員（20号委員）

増田委員（11号委員）から説明のあったとおり、症例数の少ないがんであれば個人情報の懸念もあるが、治療選択に資するので、プライバシーに配慮しつつ数値を示して欲しい。

また、初回治療の組み合わせのデータが院内がん登録でも出ているかと思われるが、これに関してのコメントをいただける体制についても検討いただきたい。

・真栄里委員（19号委員）

症例数の少ないがんであっても、地域の病院で標準治療を行っていることをコメントすべき。
→ 増田委員（11号委員）：病院長コメント等でカバーできるように考えたい。

・片倉委員（19号委員）

例え、当該がんで患者数が1名であったとしても「何人未満」などと工夫して標記し、治療ができることを示していただきたい。

上記の意見等に関し、増田委員（11号委員）からは、患者数が極端に少なくても空欄にせず標記していくことの発言があった。また放射線治療については、県では全体の半分くらいしか

実施できてないとコメントをもらうため、このことに関して全国と比べてどうかという点や臓器別などで傾向をみていく、場合によっては放射線専門医のコメントもいただくなど検討していきたい旨の説明があった。

なお、本竹委員（16号委員）からは、離島のがん診療についても可能なことは増えてきており、そのための病院自身の努力も必要であるが、やはり住民からの要望又はコミュニケーションが不可欠であり、それが医師の原動力となるので、ぜひ患者側の積極的な働きかけと協力をお願いしたい旨の発言があった。

3. 平成27年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田委員（11号委員）から、資料7に基づき今後の予定について説明があり、次回予定2月19日（金）の都合が合わない場合は事務局へ連絡するよう説明があった。

講演

厚生労働省健康局がん・疾病対策課がん対策推進官の秋月 玲子氏から下記のとおり講演があった。

「がん対策加速化プランの策定に向けて ～拠点病院・支持療法・地域連携を中心に～」

1. がん対策について
2. がん診療連携拠点病院
3. 支持療法（治療による副作用・合併症・後遺症へのケア）
4. 在宅緩和ケアとの地域連携

報告事項

1. 全国がん登録に関して、沖縄県の準備状況について

増田委員（11号委員）から、資料8に基づき、医療機関向け説明会の実施報告と今後の実務者向け説明会(12/4)について周知があった。

2. 協議会の主催・共催・後援に関する内規の改訂について

増田委員（11号委員）から、資料9に基づき、「共催」についての承認は幹事会で協議する取扱いとするため、前回の協議会で承認された内容を一部改訂する旨の報告があった。

3. 第52回・第53回がん対策推進協議会について

増田委員（11号委員）から、資料10に基づき報告があった。

なお、第53回の内容詳細は次回（第4回）の協議会にて報告することとした。

4. がん対策を加速し、全国のがん医療水準の向上を実現するための都道府県がん診療連携拠点病院の体制整備に関する提案について

増田委員（11号委員）から、資料11に基づき、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会から「事務局機能充実のための人材配置」「医師主導型臨床試験推進のためのCRC雇用」の2点について、厚生労働省へ予算措置の要望がなされている旨の報告があった。

なお、厚生労働省がん対策推進官の秋月氏からは、CRC雇用のための予算措置については、以前からがん・疾病対策課としては、再々予算要求しているものの、毎回却下されている状況である。政府としてはゲノム医療を推進する方針であり、28年度要求としてはCRC又は遺伝カウンセラーを配置するための補助金として要求している旨の報告があった。

5. 第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、平成27年度第4回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）

増田委員（11号委員）から、資料12に基づき、「HPVワクチン接種後に生じた症状に対する診療の手引き」については、各委員に参照いただきたい旨の説明があった。

また、議長から、副反応の検討に関することは重要事項であることから、次回協議会で改めて確認することの説明があった。

6. 第9回HTLV-1対策推進協議会

増田委員（11号委員）から、資料13に基づき報告があった。

また、議長から、HTLV-1が沖縄においても非常に重要な課題であることから注視していくことの発言があった。

7. 希少がん医療・支援のあり方に関する検討会（報告書）

増田委員（11号委員）から、資料14に基づき報告があった。

8. 第16回沖縄県のがん対策に関するタウンミーティングについて

増田委員（11号委員）から、資料15に基づき8月8日（土）開催のタウンミーティングについて報告があり、一般住民の意見もいただき、これも踏まえて中間評価を行う旨の説明があった。また、配付資料にて「離島医療圏のがん対策に関するタウンミーティング(11/14：石垣市)」及び「沖縄県のがん対策に関するタウンミーティング(11/15：浦添市)」の周知があった。

9. 沖縄県在宅医療人材育成・質の向上センターの活動報告

増田委員（11号委員）から、資料16に基づき報告があった。

10. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告

増田委員（11号委員）から、資料17に基づき報告があった。

その他

1. 血液専門外来の開始について

真栄里委員から、以前より要望している宮古島での「血液専門外来」について、月1回のペースで県立中部病院から医師が派遣され、外来が開始された旨の報告があった。増田委員からも資料17中の「第4回宮古医療圏がん医療連携協議会 議事要旨」にて詳細が記載されている旨の補足説明があった。

2. 子宮頸がんワクチンの副反応に関する県内の対応について

真栄里委員から、子宮頸がんワクチンの副反応に関する対応について、県医師会での勉強会が始まったと聞いていることから、どのような内容になっているか、医療だけにとらわれずにどのような補償・支援がなされるか知りたい旨の発言があり、議長からは、県内の状況を確認した上で、改めて時間を設け本協議会で議論したいとの発言があった。

3. 平成27年度 がんのリハビリテーション研修会について

沖縄県理学療法士会から、11月28日（土）・29日（日）の両日に嘉手納中央公民館にて研修会が開催される旨の周知があった。なお、当該研修は研修部会年間活動計画の施策アクションプラン「施策7」「施策8」に位置づけられること及び今年度は日本理学療法士協会主催であるため、次年度以降は沖縄自前で開催を目指すことから、関係機関の協力について依頼があった。

部会報告事項

- 1. 緩和ケア部会**
- 2. がん登録部会**
- 3. 研修部会**
- 4. 相談支援部会**
- 5. 地域ネットワーク部会**

6. 普及啓発部会

部会報告事項については、協議会ホームページにて確認いただき、訂正等が必要であれば2週間程度を目途として各委員から事務局へ申し出ることとした。

増田委員（11号委員）から、がん検診啓発ポスターデザインコンテストの投票について案内があり、協議会終了後に投票へ移った。